

学習内容報告書 フォーマット

| | |
|-----|-----------|
| 学校名 | 姫路市立家島中学校 |
| 授業者 | 全教員 |

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

ふるさとの海と伝統を知ろう

1-2. 学年

1年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合、特活、美術、音楽、家庭科、保体

1-4. 単元の概要

さまざまな体験を通してふるさとの海を知る。ヨット乗船体験で海のレジャーについて、地引網体験、おさかな講習会で地元の漁業や魚食文化について、合同防災訓練で災害について、創作活動で海洋ごみ問題について学ぶ機会を設定した。

また、長きにわたり取り組んでいる奉仕活動である「家島に感謝する日」、伝統芸能である家島船方太鼓の伝承にも取り組んだ。

その経験や書籍、インターネットを活用し深めた知識を壁新聞にまとめることで伝えるための表現力の向上を図った。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

- ・家島小学校でも取り組んできた海洋教育について学びの継続を図る。
- ・様々な体験活動を通してふるさとの海や伝統について知り、まとめ、表現する力の向上を図る。
- ・直接体験を通じて、現実の世界や生活などへの興味関心の向上、問題発見や問題解決能力の育成を図る。
- ・海洋教育をベースに教科横断的な単元の構成を図る。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・ふるさとを誇り、感謝する態度。
- ・直接体験を通じてふるさとの海について知識を深める。
- ・書く、話す等の表現する力の育成。

1-7. 単元の展開（全 39 時間）

| 時数 | 学習活動・主な内容 | 教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等 |
|----|--|---|
| 3 | 家島に感謝する日 海浜の清掃活動と回収物の分別作業を通して身近な海の環境について現状を知る。 | 教師の指導：回収物の分別 主な評価：主体的協働的な取り組みができたか 問題発見等身近な環境への興味関心 外部連携：家島美化センター |
| 15 | 家島船方太鼓 4種類の和太鼓を使い複雑なリズムを演奏する。 船方とは船に乗ることを職業とする者をさす。平成18年から家島中学校1年生が伝承している。 | 教師の指導：演奏の指導 主な評価：主体的協働的に取り組めたか 演奏に必要な機能を身につけられたか 使用教材：和太鼓4種 |
| 9 | ふるさとの海を知る ・ヨット乗船体験 ・地引網体験 ・姫路海上保安部による安全啓発 | 教師の指導：安全の確保 ふるさとの海について体験させる 主な評価：主体的な取り組みができたか 安全に留意し活動することができたか 外部連携：姫路ヨット協会 姫路海上保安部 男鹿海の家中村荘 |
| 4 | 明後日のアートの学校 外部講師を迎え、漂流物・漂着物から発想したことを絵画と文で表現し、その作品について説明をする。 | 教師の指導：外部講師を迎えての学習への取り組み 主な評価：主体的な取り組みができたか 表現力 外部連携：講師 日比野克彦氏 喜多直人氏 姫路市立美術館 使用教材：画用紙、色鉛筆 |
| 2 | 合同防災訓練 ・避難訓練 ・土嚢づくり ・簡易担架作成と搬送訓練 | 教師の指導：安全の確保 外部と連携する際の注意 主な評価：主体的協働的な活動ができたか 自分のこととして取り組めたか 外部連携：兵庫県立家島高等学校 消防署家島出張所 自衛隊 |
| 4 | 家島について調べ壁新聞にまとめ発表 様々な体験活動、書籍やインターネットを活用しふるさと家島についてグループごとにテーマを決め、壁新聞にまとめる。 | 教師の指導：情報モラル、著作権について 主な評価：主体的協働的な活動ができたか 情報を効率的に収集することができたか わかりやすくまとめることができたか 使用教材：chromebook、模造紙、マジック |

| | | |
|---|------------------------------|---|
| 2 | 出前おさかな講習会 アジの三枚おろし、ソテーの実習 | 教師の指導：安全の確保 主な評価：主体的な活動ができたか 調理に関する基礎的・基本的技能を身につけられたか 外部連携：ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会 使用教材：食材、包丁、まな板、調味料 |
|---|------------------------------|---|

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

漂着物から過去と未来について想像し絵画と文で表現する

2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / 反応 | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法） |
|---|--|
| <p>1 栽培した朝顔の種を採取する。 栽培し花が咲いているのを見てきたが種になっていることには気づいていなかった生徒が多かった。</p> | <p>・採取した種を絵画のモチーフにすることを周知する。 /主体的に取り組めたか</p> |
| <p>2 画用紙に大きく朝顔の種の輪郭を描く。</p> | <p>・講師の指示をしっかりと聞くよう指導する。 ・輪郭の中にも絵を描き、着色することを考え、描くよう支援する。 /発想や構想に関する能力</p> |
| <p>3 描いた輪郭の中に漂着物を描き、着色する。</p> | <p>・先に描いた朝顔の種の輪郭の中に漂着物をしっかりと視写できるよう支援する。 /表現の意図と工夫</p> |
| <p>4 描けた漂着物の過去と未来を想像し短い文章にまとめる。</p> | <p>・書き込む文字も作品の一部であることを理解させる。 ・自由に発想できるよう支援する。 /表現方法を創意工夫する。</p> |
| <p>5 自分の作品を紹介する</p> | <p>・参考例にとらわれず自由に積極的に表現できるよう支援する。 /主体的な取り組みができたか /創造活動の楽しさを味わうことができたか /他者の作品から見方や感じ方を深められたか</p> |

3. 今回の活動の自己評価

コロナ禍で、外部から講師を招聘し活動することが困難な中、感染防止のため体育館での活動となった。春に開催を予定していたが、2度の緊急事態宣言の発出を受け、秋の終わりまで延期せざるをえなかった。

昨年度、海浜の清掃活動の際に目の当たりにした海洋ごみ問題。特にその中でも海洋プラスチックごみ問題に着目し、調べ学習を行った。また、本校1年生は家島小学校でも海洋教育に取り組んだ経験を持つ。

海洋ごみ問題については、調べ学習を進めるほど問題の大きさと深刻さに気付く。生徒の中には悲観的にとらえてしまっている者もいる。そのような状況の中、海洋教育の学びの継続を考えた時、発想や視点を変えるきっかけとなった。講師の東京芸術大学教授の日比野克彦氏、「種は船プロジェクト」にてTANeFUNe 船長を務める喜多直人氏とは、海洋教育に携わっていたからこそ出会い、今回の交流となった。

漂着物には、上流部の道路標識の一部や散弾銃の薬きょうなど様々なものがあり、驚きもあった。しかし生徒は自由な発想で作品を完成させていた。また教師も生徒と一緒に活動し、作品作りに携わることで達成感も一緒に味わい、学校の一体感を感じることができた活動となった。教科を横断しての教育活動は生徒にとっても、また教師にとっても大変良い経験となった。

今後も海洋ごみ問題については海洋教育の中で継続して取り組んでいきたい。

4. 今後の課題

コロナ禍で、感染リスクが高いとされ、制限される教育活動が多い。今後の見通しもあまりたたない中、学びを継続させていくことが課題となる。本校は直接体験の活動を多く取り入れ、現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上、問題発見や問題解決能力の育成に取り組んでいる。インターネットを介した間接体験やシミュレーション等を通じて模擬的に学ぶ擬似体験では得られない感動や生徒の成長がある。感染対策との両立が課題とされているが小規模校の本校でもなかなか解決策を見いだせないでいる。海洋教育を中心に、多様な体験活動や、新しい発想や視点を取り入れていく中で生徒の自己達成感、自己有用感高められる活動が継続できるかが課題となる。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記なし

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。